

**特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位
置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)**

<特筆すべき教育活動>

情報リテラシー教育を支援するため、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 基本編」を3,500部作成し、新入生900人に配布した。また、「東北大学生のための情報探索の基礎知識 英語版」を1,000部作成し、学内の新入留学生200人に配布した。さらに、後期の全学教育科目授業として図書館が中心となって「大学生のための情報検索術」を開講し、70名の受講があった。

<特筆すべき研究活動>

東北大学機関リポジトリ(TOUR)のコンテンツの拡充を進め、Research and Educationは37,000件以上、Rare Collectionは16,000件以上を登録した。TOURには平成21年度に学位論文250件、博士学位論文の要旨と審査結果の要旨650件、紀要論文1,400件、学術論文2,000件を始めとする約4,800件のコンテンツが登録され、2,000,000件以上のアクセスがあった。

TOURのコンテンツ拡充に当っては、国立情報学研究所の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業に応募し、外部資金290万円を獲得した。また、本学の学位論文等の登録推進のため、10研究科から平成21年度提出の学位論文の電子ファイルの提供を受けることとなった。さらに、大学情報データベースとTOURとの連携を行い、約1,000件の論文について研究者紹介画面からTOURのコンテンツへのリンクが貼られた。

<特筆すべき社会貢献活動等>

江戸学の宝庫である本学のコレクション「狩野文庫」の資料を中心とした企画展「江戸のサイエンス～あたたかな科学が生まれた頃～」を附属図書館1号館展示室において平成21年10月23日から11月24日まで開催し、1,000名を超える入場者があった。また、10月26日に東北大学名誉教授吉田忠氏による講演会「科学の劇場～科学と見世物の間～」を附属図書館2号館会議室で、11月8日に仙台郷土研究会理事の黒須潔氏による講演会「仙台藩の天文史～戸板保佑と幻の西洋暦～」を東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)会議室で開催し、合わせて109名の参加者があった。

「東北大学和算ポータル」が、附属図書館が所蔵する日本有数の和算関係資料を電子化し全文画像をウェブ上に公開することで資料に親しむ機会を提供するとともに和算の研究に大きく貢献していることを認められ、2010年日本数学会出版賞を受賞した。